

# 相模線沿線 ハイキング 座間コース

全長約12km

## 7 富士山公園

旧陸軍士官学校の敷地で戦後もキャンプ座間の一部となっていました。昭和47年（1972）に返還され公園として整備されました。頂上部には陸軍士官学校の生徒が宮城や故郷にむかって朝夕遥拝するための方位盤が残されています。



## 8 龍源院 (湧水)

桜田伝説に登場する渋谷高間を開基とする寺院で、かつては富士山公園西麓にあったものを弘治年間（1555～58）に現在地に移したと伝えられています。龍源院の裏手には湧水があり、そのかたわらには弁財天が祀られています。2代住職奥州の夢枕にある夜白蛇が立ち、そのお告げにより五穀豊穡と無病息災を祈願して造立したとされています。また、明治時代の初めには座間小学校の前身である風牛学舎が開校されました。



## 9 鈴鹿明神社

由緒によると欽明天皇の時代（539～571）に伊勢国鈴鹿神社の御輿が、海上を渡御していたときに嵐に遭い流されて、当時入り海だったこの地に漂着したのを人々が祀ったものと伝えられています。入谷地区の総鎮守で、明治6年には県下27ヵ村（現座間市及び相模原市・海老名市・大和市の一部）の郷社に指定されました。また、神社本殿の東側からは縄文時代後期の平地式住居址が発見されています。



## 4 宗仲寺

## 5 座間神社

## 6 座間公園 WC

## 7 富士山公園 WC

## 8 龍源院 (湧水)

## 9 鈴鹿明神社

## 1 神井戸 (湧水)

## 2 桜田伝説

STAMP

座間市商工会館

WC 座間市商工会館

WC 座間市公民館

STAMP

スタート

STAMP

ゴール

STAMP

新宿・四ッ谷  
コミュニティセンター

WC 新宿・四ッ谷コミュニティセンター

スタート・ゴール受付  
(入谷小学校) WC

## 1 神井戸 (湧水)

現在ではだいぶ水量も減ってしまいましたが、水田の灌漑用水として、また生活用水として利用されてきた湧水です。また、鈴鹿明神社の祭礼のときには神輿（みこし）をかついだ若者の着用した白丁（はくちょう）を、この泉で洗い清めて神社に返納するしきたりが江戸時代より続いています。



## 2 桜田伝説

この地には次のような伝説が残されています。渋谷高間は妻と小桜姫という娘と暮らしていましたが妻に先立たれてしまいました。その後、後妻をむかえ小柳姫という娘ができましたが、高間は諸国巡礼の旅に出てしまいました。残された後妻は小桜姫が邪魔になり、家来と謀って殺して桜田の湿地に埋めてしまいました。このことを知った妹の小柳姫は、悲しみのあまり桜田の湿地に身を投げてしまいました。このことが村人たちに知れ、後妻は相模川の堤防の人柱にされてしまいました。やがて巡礼からもどった高間はこのことを知り、三人の菩提を弔うため自らは僧となり、家屋敷を寺としました。この寺が現在の龍源院であると伝えられています。



## 3 浄土寺

お寺の由緒によると元亀年間（1570～73）に源常圓悦によって開山されたと伝えられています。創建時の堂宇は洪水で流出し、現在地に再建されたとも伝えられています。また、浄土寺は現在確認されている中で、市内で最も早い時期に寺子屋があったことが確認されています。その寺子屋の師匠保田安兵衛の供養塔(市指定重要文化財)が境内に安置されています。



## 4 宗仲寺

慶長8年（1603）に徳川家康の家臣でこの地域の領主であった内藤清成が、父竹田宗仲の菩提のために創建した寺院です。宗仲寺は徳川家康とも縁のある寺院で、鷹狩の際に家康がたびたび立ち寄り、久能山から日光へ家康の遺骸を移す際には、その行列が当寺で休息するなどしています。また、境内に安置されている六字名号碑（ろくじみょうごうひ）と蜻蛉灯籠（かげろうとうろう）は市の重要文化財に指定されています。



## 5 座間神社 6 座間公園

伝説によるとかつてこの地域に悪疫が流行した際に、白衣の老人一飯綱権現の化身があらわれ、山すそから湧き出る清水をつかうことを勧めました。その水を飲むと疫病もおさまり村民は救われました。このことを感謝して飯綱権現を祀ったのが座間神社の起こりと伝えられています。隣接する座間公園は、遠く丹沢の峰々が一望できる見晴らしの良い公園で座間八景の一つとなっています。

